

事業番号	14 04 07	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援教育総合推進事業費			担当課	部局	教育委員会事務局
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	特別支援教育課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援		E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H24 ~ H25	

1 事業の概要

目指す姿	<p>○本県の今日的課題に対応し、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うための実践研究に総合的に取り組むことにより、特別支援教育の更なる充実を図る。</p> <p>○実践研究の成果を広く県下に発信することにより、それぞれの学校力・地域力を高め活かす体制が充実する。</p>	
現状	<p>・高等学校による発達障害のある生徒へのキャリア教育を充実させる必要がある。</p> <p>・小中学校において、「授業のユニバーサルデザイン化」を進め、すべての子どもが「分かる・できる」授業となるような授業改善を行うとともに、特別な教育的ニーズのある児童生徒への校内支援手体制について研究を行う必要がある。</p> <p>・県下のどの地域においても、地域の人的資源を活用してチームを編成し、相談支援チームが機能することによって乳幼児期からの教育相談を充実させる必要がある。</p>	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 平成24年度文部科学省委託事業 25年度も継続実施予定

事業内容

① 成果目標(H24)

○モデル研究校、モデル地域を指定し、高等学校におけるキャリア教育の充実、授業のユニバーサルデザイン化と校内支援体制の工夫、早期からの教育相談・支援体制の整備等を行う。

② 事業内容 (単位:千円)

項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25
			(6月補正)	(決算)	(当初)
1 高等学校における発達障害のある生徒へのキャリア教育の充実	直接	・SST指導システムの構築 ・職場体験・インターンシップの中でSSTの効果の検証	1,500	1,423	1,499
2 特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究	直接	・「授業のユニバーサルデザイン化」の推進 ・LD等通級指導教室担当教員による巡回支援	755	534	994
3 早期からの教育相談・支援体制構築	直接	・早期支援コーディネーターの配置 ・5町村の共同設置による就学相談委員会の運営協力	3,549	2,040	3,323
合計			5,804	3,997	5,816

区	分(単位:千円)				22年度		23年度		24年度		25年度	
	事業	予算額	前年度繰越									
当初予算												5,816
補正予算									5,804			
合計(A)						0	0	5,804	5,816			
コスト	Aの財源	国庫支出金						5,804	5,816			
		県債										
		その他()										
		一般財源				0	0	0	0			
ト	決算額(B)	概算人員費							3,997			
		職員数(人)							0.10	0.10		
		概算人員費(C)				0	0	826	826			
		概算事業費(B(A)+C)				0	0	4,823	6,642			

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
SSTの導入	10回	10回	10回	達成	15回
授業のユニバーサルデザイン化	4校	4校	4校	達成	校内体制の構築(4校)
早期コーディネーターの配置	1人	1人	1人	達成	「南部地区早期相談・支援運営協議会」の設置

目標に対する成果の状況	<p>○高等学校における発達障害のある生徒へのキャリア教育の充実については、3年生のSST講座を10回実施し、必要なスキルを高めることができた。</p> <p>○「授業のユニバーサルデザイン化」の充実については、4校において実践を進めることができた。</p> <p>○早期からの相談支援・支援体制の構築については、早期支援コーディネーターの配置により取組を始めることができた。</p>
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>○高等学校における発達障害のある児童生徒へのキャリア教育の充実については、就労希望の生徒へのSSTの充実を図る。</p> <p>○教育課程の編成等についての実践研究については、校内体制の構築の研究を進めていく。</p> <p>○早期からの教育相談・支援体制の構築については、「南部地区早期相談・支援運営協議会」の設置により、その充実を図る。</p>